

報告事項 テ

平成27年度第4回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議の概要  
について

平成27年度第4回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議の概要について  
別紙のとおり報告します。

平成28年3月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成27年度第4回鳥取県教育審議会生涯学習分科会  
兼鳥取県社会教育委員会議の概要について

1 日時 平成28年3月7日(月)午後2時から4時まで

2 場所 県庁第34会議室

3 会議の概要

議題1 平成28年度社会教育関係団体への補助金について

○来年度の青少年団体・成人団体等への助成について説明し、了承を得た。

報告1 今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方(答申)をうけての取組の方針について

報告2 青少年社会教育施設の機能強化について

○今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方(答申)をうけての取組の方針について及び青少年社会教育施設の機能強化について報告した。

○意見の概要

- ・青少年社会教育施設については、指定管理者制度を導入後も、利用者の不便がないよう対応をお願いする。
- ・一部指定管理導入のため、指揮命令系統等で混乱する恐れがある。倉吉の公民館の例を参考にしているかどうか。

意見交換1 鳥取県社会教育について

○県内社会教育関係団体等が取組について報告した。

鳥取県連合青年団、ガールスカウト鳥取県連盟、日本ボーイスカウト鳥取連盟、鳥取県子ども会育成連絡協議会、鳥取県連合婦人会、鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、(公財)とっとり県民活動活性化センター

○意見交換の概要

- ・子どもが卒業してしまい、新しい子どもが入らない団がある。指導者は残って活動をして勧誘を続けている。
- ・子どもが少ない自治会が増えてきているが、そういったところが合同で子ども会を組織することはできないものだろうか?  
⇒本来は自治会組織とは別であるが、自治会の組織の一つとして認識されているところが多い。そのため、自治会同士の協力が必要となる。そうなると一緒に活動するのはなかなか難しい。(こども会)
- ・青年団について、他の地域では40歳以上の壮年も一緒になって『青壮年団』として活動しているところもある。年齢で区切らず、もっと幅を持たせてはどうか。  
⇒「青年団」と聞くと、二十歳前後の若い人を想像する方が多い。実際には35歳を過ぎても活動している人はいる。(青年団)

意見交換2 家庭教育支援チームの取組について

- アウトリーチ型家庭教育支援体制づくりの推進に向けた支援について説明を行った。
- 「智頭町家庭教育支援チームの取組について」の事例発表を行った。

○意見交換の概要

- ・家庭教育については関心の高いところ。智頭町でのアウトリーチ型に向けた取組はどうか。  
⇒家庭訪問は、個人情報扱いの問題もあり、難しいとの声が上がっている。(智頭町)
- ・町では、地域住民目線で、親同士声を掛け合えるような取組を实践。夏休みに昼ご飯が準備されていない家庭へ“ドアノック”とって声かけをしている。家庭訪問は、保健師を同行して実施。
- ・町では保健師、支援センターで協力し、妊娠中からの支援を実施。チームができるところまでが難しいと考える。県で進めていただけるのはありがたい。
- ・学校関係者として、様々な取組がありがたい。親の周囲との断絶が、子供へ不安を伝染しているように感じる。訪問型家庭教育支援という形で目を向けてもらえて嬉しい。支援の個別の対応に期待する。
- ・民間でできる形もあるが、行政のサポートも必要。切れ目のない支援の中に子どもの居場所づくりも大切。一方、参加費等が必要となるため、行政の支援が必要。家庭へ入り込む体制は行政でしっかりと。  
⇒ 訪問型の難しさは承知。しかし支援を届けることは重要。まず、事務局内に核となる人材が必要。県教委では、今後も市町村での組織づくりに向け支援していく。支援する人がいないということは各市町村より聞いている。県として支援者となり得る人の養成も検討が必要と考えている。  
組織の規模が大きくなると、棲み分けができてしまう。そうならない組織を福祉と教育が連携しながら意識的に仕組み、つなぐことが必要。教育の観点では「地域未来塾」と並行して実施。(県教委)
- ・県内に様々な団体があり、隣と手を組む、すき間を埋めるなどしてできることがあるのではないかと。

〈参考：委員名簿〉

氏名	所属・職名等	備考
伊澤 悦子	日本ボーイスカウト鳥取連盟鳥取2団ボーイ隊長	(欠)
市橋 幸代	湯梨浜町子育て支援課子育て支援員(元湯梨浜町立松崎幼稚園長)	
大堀 貴士	NPO 法人ハーモニーカレッジ理事長	
岡崎 誠	鳥取環境大学教授	
木村 京子	鳥取市立美保小学校長	
近藤 剛	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授	会長
田中 朝子	鳥取県連合婦人会長	
徳吉 雅人	倉吉市明倫公民館長	副会長
中村 美香	鳥取県連合青年団長	(欠)
長尾 志保	鳥取県PTA協議会ブロック理事	
福井 伸一郎	倉吉市教育委員会教育長	(欠)
森岡 祐美子	株式会社山陰放送ラジオ総局放送制作部	(欠)
山本 幸子	鳥取市社会福祉審議会委員	